

監 査 結 果 報 告 書

2025 年 5 月 29 日

学校法人共済学院
日本保健医療大学
理 事 会 御 中

監 事 金 森 浩 之

監 事 西 須 祐 三

私たちが 2025 年 5 月 24 日に実施しました 2024 年度（自 2024 年 4 月 1 日至 2025 年 3 月 31 日）の監事監査について以下のとおりご報告申し上げます。なお、本日付で私立学校法第 37 条第 3 項に基づく監査報告書を提出しております。

I. 概要

月 日	時 間	項 目	監 査 方 法
5 月 24 日	13:00～ 15:00	下記項目 1～5	担当者にヒアリングを実施するとともに 関連資料等を閲覧。

II. 監査結果

1. 2025 年 3 月期決算概要

資金収支計算書は、翌年度繰越支払資金は 450 百万円と前年度と比較して 393 百万円減少しました。

また、事業活動収支計算書は、教育活動収支差額が△377 百万円と赤字となった結果、経常収支差額が△379 百万円、基本金組入前当年度収支差額が△376 百万円、基本金組入額 102 百万円を差し引いた当年度収支差額は△479 百万円と前年度△278 百万円からさらに悪化しました。結果として、翌年度繰越収支差額も△1,137 百万円と前年度△657 百万円から悪化しました。

なお、日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センターが公表している経営判断指標の区分によれば、耐久年数が修業年限未満となることから、当大学はレッドゾーンの D2（前年度イエローゾーンの C2）になるものと考えます。

当学院存続にとって重大な影響がある状況であります。

2. 国家試験について

(1) 看護師国家試験について

2025年2月16日に実施された今年度の看護師国家試験の結果は、当大学は新卒受験者数53名、合格者47名で合格率88.7%（前年74.0%）でした。

また、既卒者の受験者数は46名、合格者17名で合格率37.0%（前年15.2%）でした。既卒者の人数が多く、合格率も高くないこともあり、合計99名が受験し、合格者64名で合格率64.6%と前年度の59.9%よりは良化したという結果となりました。

全国平均の新卒者の合格率が95.9%（前年度93.2%）、新卒者・既卒者全体の合格率が90.1%（前年度87.8%）であり、新卒者及び全体の合格率とも全国平均より大幅に低く昨年同様全国の大学中下位という極めて厳しい結果となりました。合格率を上げることは当学院の存続に関わる喫緊の課題であります。

(2) 保健師国家試験について

2025年2月14日に実施された今年度の保健師国家試験の結果は、当大学は新卒受験者数13名、合格者9名で合格率69.2%（前年94.1%）と前年から大きく悪化となる結果となりました。

また、既卒者の受験者数は3名、合格者0名で合格率0.0%（前年0.0%）でした。合計16名が受験し、合格者9名で合格率56.3%（前年度76.2%）となりました。

全国平均の新卒者の合格率が96.4%（前年度97.7%）、新卒者・既卒者全体の合格率が94.0%（前年度95.7%）であり、新卒者・既卒者ともに残念な結果となりました。

(3) 理学療法士国家試験について

2025年2月24日に実施された今年度の理学療法士国家試験の結果は、当大学は新卒受験者数40名、合格者40名で合格率100.0%（前年96.0%）と好結果となりました。

また、既卒者の受験者数は3名、合格者0名で合格率0.0%（前年60.0%）でした。合計43名が受験し、合格者40名で合格率93.0%（前年度92.7%）と好結果となりました。

全国平均の新卒者の合格率が95.2%（前年度95.3%）、新卒者・既卒者全体の合格率が89.6%（前年度89.3%）であり、新卒者及び全体の合格率とも全国平均を上回る好結果となりました。

3. 各学科の入試状況について

(1) 看護学科

2025年度の入試状況は、看護学科は61名（前年度86名）の志願者、60名（前年度83名）の合格者に対して、34名（前年度48名）の入学者と今回も定員80名（2025年度入学者より100名から定員変更）の半数にも満たない大幅な定員割れとなりました。

昨年以上に志願者が減少しており、当学科が選ばれない傾向が続き大変厳しい状況となっています。

(2) 理学療法学科

2024 年度の入試状況は 47 名(前年度 57 名)の志願者、41 名(前年度 52 名)の合格者に対して、25 名(前年度 26 名)の入学者で、平成 29 年度開設以来、定員(2025 年度入学者より 50 名)割れの状況で、昨年に続き志願者自体が大きく定員割れとなりました

両学科ともに志願者が少ない傾向が続いており、このままでは当学院自体の存続が危うい状況になると考えます。

4. 入学者の状況

入学者の状況はお伺いした範囲では以下のとおりです。

高い比率で退学者が続いていた理学療法学科の状況は落ち着きました。

退学者の増大は大学経営に大きな問題となりますので、退学申請等の学生とは適切なヒアリングを実施し、フィードバックして頂くことをお願いいたします。

(1) 看護学科

(単位:名)

年度	入学	休学	留年	退学	除籍	事由	進級及び卒業予定
2021 年度	73	0	8	14	2	進路変更 7、修学意欲低下 5、病気 2、学費未納 2	49
2022 年度	81	0	6	12	0	進路変更 5、修学意欲低下 3、学力不足 3、家庭の事情 1	63
2023 年度	41	0	6	8	2	進路変更 6、修学意欲低下 1、対人関係 1、学費未納 2	25
2024 年度	48	0	4	2	0	進路変更 1、学力不足 1	42

(2) 理学療法学科

(単位:名)

年度	入学	休学	留年	退学	除籍	事由	進級及び卒業予定
2021 年度	58	0	6	15	3	進路変更 8、修学意欲低下 5、学力不足 2、学費未納 2、死亡 1	34
2022 年度	38	0	1	7	0	進路変更 4、学力不足 2、修学意欲低下 1	30
2023 年度	28	0	0	1	1	進路変更 1、学費未納 1	26
2024 年度	26	0	0	2	0	進路変更 1、学力不足 1	24

5. 公認会計士の指摘事項等

5月23日に、竈原一晃公認会計士の監査報告を受けましたが、主に以下の指摘事項がありました。

(1) 決算体制の強化

前年度より一部漏れや遅れがみられる決算作業の早急な改善対応。

(2) 科研費で取得した設備の固定資産計上の対応

科研費で取得した設備の固定資産に計上漏れの防止。

(3) 翌年度以降の検討事項として継続法人の前提の記載

以 上